

令和8年度 望洋台地区小中一貫教育グランドデザイン

令和8(2026)年度版

一貫教育推進協議会

望洋台小学校・望洋台中学校の全教職員

経営会議(校長2名,教頭2名)

・推進にかかる全体計画・重点事項
の方向付け

拡大会(教務主
任2名)

★合同事業★

- ・総会・生徒指導交流(年1回)
- ・一斉代表者部会(年2回)
- ・公開授業研究会
- ・小中授業交流

教務部～小中9年間の接続

- ・年間計画推進にかかる連携
- ・9年間を見通した総合的な学習
の時間の指導計画作成・修正

指導部～たくましい心と身体

- ・生活のきまりの連携
- ・児童生徒交流の計画

研究部～授業改善

- ・学習規律の連携
- ・端末のきまりの連携、活用状況
の交流

養護教諭

- ・子どもの心身のケアなど

学校事務

- ・学校・学習環境の整備など

特別
支援

小樽市小中学校一貫教育基本方針

～学びと育ちをつなぐ学校づくりの
実現を目指して～

学力・体力
の向上

豊かな心の
育成

地域に貢献
する力の育

Well-Being

持続可能な幸福感

9年間の学びの連続性

つなぐ・
そろえる

小学校(重点目標)

想像力を働かせ、
自ら考え行動する子どもの育成

中学校(重点目標)

自ら学び 共に考え
課題を解決する生徒の育成

望洋台地区一貫教育の目標

ふるさとを愛し 未来に向かって
たくましく伸びる 望洋台の子ども

知

自ら考え、とも
に学ぶ子ども

徳

思いやり、協力
し合う子ども

体

たくましい心身
をもつ子ども

高校等との連携

実現期(中2～中3)

- ・進路の実現
- ・実践的取組の深化・拡充

拡充期(小5～中1)

- ・学びの深化
- ・キャリア意識の醸成
- ・望ましい集団による実践・
体験の積み上げ

基礎期(小1～4)

- ・基礎基本的な学力の定着
- ・学習へ向かう姿勢の確立
- ・望ましい人間関係・集団づくり

幼保との連携

【児童生徒の実態】

- 与えられた課題に一生懸命に
取り組むことができる
- 主体性や粘り強さが課題
- すすんで交流したり、仲間と
協力したりすることができる
- 集団としての高まりや個々の
深まりが課題
- 基礎学力は概ね定着している
- 活用力や想像力が課題

【地域の実態】

- 「町会」の活動は活発で町ぐるみで子
どもたちを育てようという意欲が高い
- 協力的で、温かく子どもたちを見守っ
てくれている